



いずみ



令和2年11月2日発行

<学校の教育目標>

かしこい子

やさしい子

たくましい子

チー ム 和 泉

(Tel) 3480-3881 (Fax) 5497-7358 (HP) <<http://www.komae.ed.jp/ele/izumi/>> 校長 伊藤 栄司

感動の共有

校長 伊藤 栄司

「馬を水辺に連れていくことはできても、水を飲ませることはできない」※

これは、イギリスに古くから伝わる諺です。馬を子供、水を学習に例えていて、やる気がない子供にいくら一生懸命教えても身につかないと自戒の念を込めて教育の世界で時々使われる言葉です。学習をする時は、知りたい・学びたい気持ちをお子たちに抱かせることがとても大切です。

学ばせるための道具

先月より2年生以上の児童一人に1台タブレット型のコンピュータが貸与されています。プログラミングや調べ学習等の他に、家庭での予習、復習に活用できるのではないかと大変期待しています。先生方もどのように使うと効果的か日々、研究しながら有効な手立てを探っています。

先生方は教えることが専門なので、どちらかというと学ばせるための道具としてコンピュータをとらえがちです。しかし、学ばせるための道具だけでは「馬を水辺に連れていく」のと同じです。環境を整え「さあ、学びなさい」といってもなかなか学びは始まりません。

学ぶための道具

一方、児童が何かに疑問や興味をもち、調べたい、学びたいと思ったとき身近にコンピュータがあると真の力を発揮します。日常生活の中から課題を見つけ、自分で調べ解決する。そして、学びとったことを日常生活にフィードバックする。この自学自習の学習習慣を身につけさせることが、一人1台のタブレット型コンピュータを貸与した一番のねらいです。休校や分散登校など、また学校に来ることができない日が来るかもしれません。児童一人一人が学ぶ

ための道具としてコンピュータを意識し、どんな時でも自ら学びを深めてこそ「馬に水を飲ませることができた」と言えるのではないのでしょうか。

感動の共有

では、どうすれば子供たちは興味・関心を抱くのでしょうか。授業では始めの部分で写真や絵を使ったり、これまでの経験や思い出を想起させたりします。また、子供たちが当たり前と思っている常識をあえて覆すようなことを聞いたりもします。「学びたい」と子供が目を輝かせたとき、授業の密度は驚くほど濃くなります。

ご家庭では「すごいね」「綺麗だね」「不思議だね」と声をかけてあげることが大切です。感動を言葉に出し、共有することで子供の興味・関心は高まります。もしその時、手元にコンピュータがあればすぐに学びが始まります。

子供たちが自由自在にコンピュータを操り、自らの学びを深めてくれる日を楽しみにしています。

※原文 You can take a horse to the water, but you can't make him drink.

11月の主な学校行事

- | | |
|-----------------------------------|------------------------------|
| 2日(月) 委員会活動⑥ 安全点検日 | 16日(月) クラブ活動⑦ けやき面談(16日~30日) |
| 4日(水) 避難訓練 | 19日(木) 特別時程 個人面談① |
| 6日(金) 交通安全指導日① 内科検診5・6年生 | 20日(金) 特別時程 個人面談② |
| 9日(月) クラブ活動⑥ 安全点検日 | 24日(火) 特別時程 個人面談③ |
| 10日(火) 4年生遠足 | 25日(水) 特別時程 個人面談④ |
| 12日(木) 交通安全指導日② 腎臓検診3次 | 26日(木) 合同和泉の日(6年生) |
| 13日(金) 腎臓検診3次予備日 | 30日(月) 委員会活動⑦ |
| 14日(土) 体育実技発表会(1・2・3年生) 午前授業 特別時程 | |

【 11月の生活目標 】言葉づかいに気をつけましょう